

ようこそ

11月21日、町内斜里小学校の4年生の女の子2名がエゾシカについて教えてほしいと訪ねてきました。

当センターでは食害（樹皮食い）の調査を行っています。そこで、その結果や写真を見せて、森林の現状を説明しました。しかし、生徒達にとっては難し過ぎたようで、展示室に置いてあるエゾシカの角の方が気に入ったようでした。



11月9日、町内斜里中学校の2年生の男子1名が当センターを訪れました。これは、中学校の職場体験学習の一環で、この日は斜里町内26の職場で生徒達が職場を体験しました。

午前中は、事務室で、仕事の内容やクマスプレー等の道具について説明し、午後は実際に知床の森林の中を歩きました。室内では口数の少なかった生徒も森の中では元気いっぱい走り回り木の実を拾ったりしていました。

12月13日、北海道電力斜里営業所の申し出に応じて森林教室を開き、クリスマスリース作りを体験しました。当日は、所長さん以下、職員の家族、約10名が参加されました。皆さんはセンター職員から手ほどきを受けながら夢中で取り組んでいました。リースに自分なりの飾り付けをして完成です。皆さん、満足した様子でお持ち帰りになりました。



編集室より：

平成13年一年間の当センターのホームページへの訪問数は約18,000でした。たくさんのご訪問をありがとうございました。今年もよろしくお願いします。

知床の森から

平成14年1月発行 第76号

北海道森林管理局北見分局 知床森林センター

〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地

電話 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160

ホームページ <http://www.siretoko.knc.ne.jp/>



新年明けましておめでとうございます

山々は深い雪に覆われ、空にはオオワシが弧を描き、知床半島は静かな季節を迎えています。この冬は例年になく早く訪れました。動物たちの冬ごもりの準備は間に合ったのでしょうか。この秋は森林の実りが少ないようでしたのでちょっと心配です。また、流水の接岸も早くなりそうです。

さて、当センターでは、昨年、新しく「森林環境情報システム」を設置しました。斜里町斜里から峰浜、ウトロ

にかけて国有林の中に3台の観測カメラを設置しました。厳冬の下でも稼働できるようにエアコンを備えています。また、当センターの中にはカメラのデータを受け取る基地局があります。映像はホームページ上で公開しています。どうぞご覧になって下さい。

なお、当センターの展示室では実際の生の映像をご覧になれます。機会があればお越し下さい。

知床森林センターでは、今後も、「森林レクリエーションin知床」や「森とのふれあい」等のイベントの開催を主軸として、インターネットを利用した知床半島の最新の情報発信に努め、広く国民の皆さんに知床の森林の良さを知ってもらいたくPRに努めていきたいと思っております。

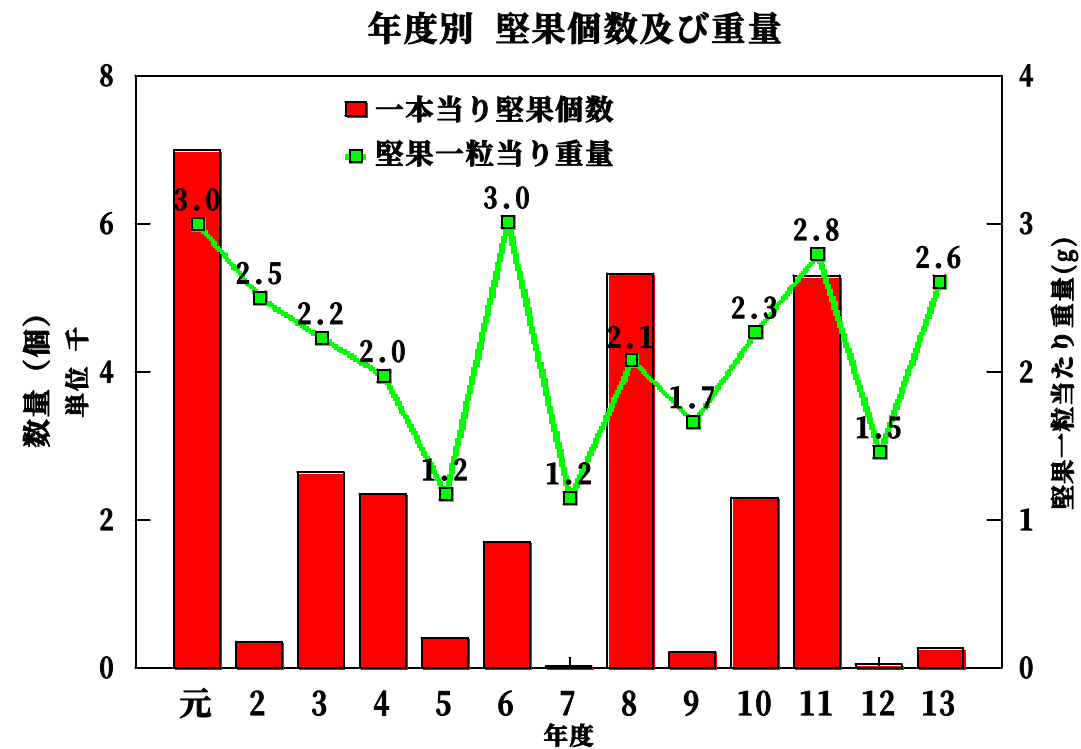
どうぞ、今年もよろしくお願い致します。



新たな年を迎える庁舎

平成13年

「知床半島、ミズナラのドングリ調査結果」 数は少ないが粒ぞろい



当センターが毎年、知床半島で実施している「ミズナラ堅果結実調査」の今年（平成13年）の調査結果がまとまりました。

昨年（平成12年）は数、重量共に少ないという典型的な凶作でしたが、今年は数は少ないものの平均の重さが重い「粒ぞろい」となりました。

この調査では知床半島の主要な樹種の一つであるミズナラのドングリの実の成り具合を調べていて、平成元年から毎年実施しています。

調査地は知床半島の二箇所に設けられ、全部で25本のミズナラを調査木として選んでいます。

ドングリを集めるのは9月中旬から10月下旬まで、一週間毎に6回集めました。その方法は、各調査木の枝の下に、ドングリを受け止めるために寒冷紗(か

んれいしゃ)で作った1平方のネットを全部で75個設置し、そこに落下するドングリを集めます。集めたドングリは一個ずつ重さを量り集計します。

今年の調査結果は上のグラフのようになりました。ミズナラ1本当たりのドングリの数は平均269粒、ドングリ1粒あたりの平均重量は2.6グラムとなりました。昨年までの調査結果では、ドングリの数が少ない年にはドングリの重さも軽くなっています。しかし、今年は、ドングリの生産量が少ないにも関わらず、ドングリの重さが重くなっています。また、これまで、ドングリの数の少ない年が2年続くことはなかったのですが、平成12～13年と続けて数が少なくなりました。

平成14年は豊作になることを期待しましょう。

第39回 森とのふれあい クリスマスリース作り講習会



第39回「森とのふれあい」『森の恵みのリース作り』を12月2日に当センターセミナー室で32名（内、小学生5名）の参加で実施しました。今回は、町内在住の講師を招いて開催しました。

まず、針金で作った直径20cmの輪にフローラルテープを巻き付けたものを土台にします。これは針金ハンガーを使ってもOKです。そこにトドマツの葉を一握りずつ糸針金で巻き付け、クリスマスリースの本体を作ります。さらに、マツカサ、リボン、ベル等を飾り付けていきます。参加者は、先生から材料の取り扱い方や作り方等の説明を受けた後、さっそく材料を選びに入りました。馴れた手つきですぐ取り掛かる人、慎重に材料を選ぶ人、



様々です。

まるで山の中で森林浴している様にトドマツの香りが部屋一杯に漂う中、思ったより難しいとトドマツの枝やリボン結びに苦闘していました。

終わりに、出来上がった思い思いの作品を持ってセミナー室で記念の写真を撮り終了しました。

余った材料を持ち帰り家で作りたいとの声もありました。

短い時間の中でしたが、楽しそうな声や笑顔でセミナー室は終始なごやかな雰囲気に包まれ好評でした。

